

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 6年 4月

事業所名 ジムズキッズ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		学習室と指導訓練室の適切なスペースを確保できている。	
	2 職員の配置数は適切である	○		人数が足りない時には他の事業所から応援に来てもらう。	今後も職員の配置数が適正であるよう厳守する。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	玄関に7センチほどの段差がある。	厚いマットを敷いて段差を少なくする。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員間の連携を行っている。毎月職員会議を複数回行っている。	今後も、全職員が周知出来るように努める。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート結果を元に、保護者様の意見に耳を傾け、改善に努めている。	今後もアンケート結果を元に改善に努める。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			今後も継続していく。。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後検討する。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月に1回行っている。年単位で、研修を計画している。	今後も、社内会議、事業所内会議を継続して行っていく。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		半年に一度、面談を行っている。	今後も子供と保護者様のニーズや課題を分析し、良い支援を行えるようにする。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		モニタリングを行っている。	モニタリングの結果に基づき、職員間で共有している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		行っている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		療育内容が偏らないよう、月ごとでメニューを変えている。	今後も、様々な事を盛り込んでいく。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		個の力となるように、継続的な課題を設定した。	ちょっと難しい事にもチャレンジし、達成感と自己肯定感が高まるような支援をする。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもの特性を理解したうえで計画を作成している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		申し送りや、当日の活動内容などの確認をしている。	今後も、職員間での情報共有、打ち合わせをしていく。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		当日の気になった出来事や改良点など、職員間で話し合っている。	今後も振り返りを行っていく。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個人ノートを作成している。	業務終了後等に記録を行っている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		実施している	ガイドラインに沿って行っている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		現場支援員が実施	今後も支援員が会議等での情報を元に行う。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		実施している	今後も、共有出来るように努めていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	実施していない	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	実施していない	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	実施していない	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		科学館、児童館、ドリームシアターなどの施設で触れ合う機会を設けている。	今後も、継続していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や、連絡帳、電話で連絡している。	今後も密に連絡、面談をし、お子さんや保護者様の理解に努める。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	実施していない。	今後検討する。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っている。	今後も同意して頂ける様に説明をしていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		実施している。	相談しやすい環境を今後も提供していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		実施している。	ご意見等を頂いた際は職員全員が周知し、対応する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		活動の概要を配布している。	今後は細やかな情報を載せるようにする。
	35	個人情報に十分注意している	○		実施している。	今後も、十分に気を付けていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		特性に合った伝え方をしている。	今後も継続していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	実施していない。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	作成してある。	保護者に周知まではできていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		実施している。	1年に2回行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		対応している。	虐待防止等の資料を設置し、職員全体で周知している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に行っている。	今後も十分な説明をしていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		実施している。	アレルギー等の持病の確認を職員が共有、徹底していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		実施している。	今後も、全職員が周知するようにしていく。